

2023年度

外遊びを通じて子どもと関わる

# プレーワーカー養成講座

「早く帰らなきゃ」「宿題しなきゃ」「怒られる」「無理」  
いま、社会のそこかしこから発せられる管理のための言葉に縛られ、子どもは生きづらさの中にいる。

そもそも子どもが生きるとはどういうことか。  
子どもがのびのびと、生き生きと、自由であるとはどういうことか。

プレーパークは、大人からの束縛と社会全体から見張られる雰囲気から子どもが解放される場である。

プレーワーカーは、子どもの遊びを最大の価値に据え、聞こえてくる子どもの悲鳴に向き合い、社会へと訴える。

## 講座

1日目 9月1日(金)または 9月3日(日)  
時間: 10:00~16:30 公開講座 10:00~14:30  
場所: みやぎNPOプラザ・第1会議室(宮城野区榴ヶ岡5)

2日目 9月15日(金)または 9月17日(日)  
時間: 10:00~16:30 公開講座 10:00~14:30  
場所: みやぎNPOプラザ・第1会議室

3日目 9月30日(土)または  
時間: 9:00~18:00  
場所: プレーパークけせんぬま(気仙沼市田尻沢190-3)

10月9日(祝)  
時間: 9:00~18:00  
場所: 十三塚公園(名取市手倉田山無番地)

4日目 10月7日(土)または 10月21日(土)  
時間: 9:00~18:00  
場所: 森郷キャンプ場(利府町森郷惣ノ関北56-2)

5日目 11月11日(土)  
時間: 10:00~16:30  
会場: みやぎNPOプラザ(予定)

## 実習

### ◆公開講座

・どなたでも参加できます。行政職員、議員、保護者など。

### ◆養成講座

・プレーパーク、冒険遊び場、児童館、放課後児童クラブなどで、外遊びを通じて子どもと関わる活動を始めたい方。  
・上記の施設ですでに職員として関わっているけれど、さらに知識を深めたい方。

※養成講座は公開講座受講を必須とします。

### ◆定員

公開講座: 各回30名

養成講座: 各回10名

### ◆受講料

公開講座: 3,000円(単日)

養成講座: 15,000円(5日間)

申込締切  
8月20日(日)

講座と実習は2回ずつ行います。どちらかの日程にご参加ください。

### ◆申込方法

Peatixフォームから申し込みください。



問合: 廣川和紀 090-6459-5225

info@playworkers.org

主催: 一般社団法人プレーワーカーズ

協力: 認定NPO法人

冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

助成: 公益財団法人 東日本大震災復興支援財団

「子どもサポート基金」事業



### ◆講師



須永 力



廣川 和紀



## 1日目【子どもが遊ぶ場に大人がいる意味】

9/1(金)または9/3(日) みやぎNPOプラザ・第1・2会議室

テーマ	内容	講師
プレーパークとは何か 公開講座	「プレーパークとは大人たちへのメッセージである」 プレーパークの事例、例えば手作り遊具、キャンプ、子ども商店街、被災地支援などに込められたメッセージを考える。	ぶんちゃ
子どもと遊びの社会環境 公開講座	「やっぱり遊んでいない僕ら」 親世代の私たち大人は、「遊ぶ」ことの真相を知っているのか。知らないとうなるのか。遊びの伝承ができない社会環境を問う。	かずき
プレーパークにいる大人の役割 公開講座	プレーパークにはどんな大人がいるのか、何をしているのか。プレーワーカー、世話人、ボランティア、保護者、通りすがりの人など、その役割について考える。	ぶんちゃ
ふりかえり	子どもに関わる活動、職業は多種にわたる。あなたはなぜ「遊び」で子どもに関わりたいたのか。その選択は正しいのかを振り返る。	ぶんちゃ

## 2日目【子どもが遊ぶ場でプレーワーカーが考えていること】

9/15(金)または9/17(日) みやぎNPOプラザ・第1会議室

プレーワーカーの姿勢 公開講座	「子どもより弱く、大人より強く」 子どもにとっての立ち位置、大人にとっての立ち位置をどこにとるのか。いつもプレーパークにいるプレーワーカーの姿勢を知る。	ぶんちゃ
プレーワーカーのスキル 公開講座	「子どもと距離感とリフレクション」 「大人へ子どもの声を代弁するための言葉について」	かずき
環境設定 公開講座	「作られた遊び場は本当に遊び場か？」 作り続けられる遊び場＝プレーパーク。そこには完成形がない。それはなぜなのかを考える。	ぶんちゃ
ふりかえり	2日間の講座を受けて、感じたことを話し合う。	ぶんちゃ
ガイダンス	実地研修に向けたガイダンス	かずき

## 3日目【プレーパーク実習】

9/30(土)プレーパークけせんぬま または 10/9(祝) 十三塚公園

プレーパーク実習	プレーワーカーズが運営するプレーパークでの実践とふりかえり	ぶんちゃ かずき
----------	-------------------------------	----------

## 4日目【プレーパーク実習】

10/7(土)または10/21(土) 森郷キャンプ場

プレーパーク実習	参加者が1日プレーパークを開催する。 ・環境設定 ・リスクマネジメント ・子どもとの関わり ・大人との関わり	ぶんちゃ かずき
----------	--	----------

## 5日目【グループディスカッション】

11/11(土) みやぎNPOプラザ(予定)

グループディスカッション	講座全体を通してのふりかえり 参加者交流	ぶんちゃ かずき
--------------	-------------------------	----------



須永力(ぶんちゃ)

一般社団法人プレーワーカーズ代表理事。33年以上の経験をもつ日本で最も古株のプレーワーカー。世田谷のプレーパークで遊び場とプレーワーカーの存在意義を知る。阪神淡路大震災・神戸市長田区、静岡県富士山こどもの国、仙台市海岸公園冒険広場、東日本大震災では岩手・宮城・福島と全国各地の遊び場づくりを支えてきた。



廣川和紀(かずき)

一般社団法人プレーワーカーズ事務局長。16歳の頃から子どもに関わる市民活動を始め、大学卒業後は遊具メーカーで働きながらプレーパークの活動も行ってきた。東日本大震災後プレーワーカーとして働き始め、現在は県内外のプレーワークやプレーリーダー研修の講師を務める。